

「自動棚割機能」の開発に関する連携・協働のお知らせ

～製・配・販全体の効率化を目指した取り組み～

株式会社PALTAC(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長 糟谷誠一 以下、PALTAC)は、棚割マネジメントシステムを手掛ける株式会社サイバーリンクス(本社:和歌山県和歌山市、代表取締役社長 村上恒夫 以下、サイバーリンクス)様との連携・協働により、小売業様に対する棚割(商品陳列計画)提案活動の効率化を目的に、サイバーリンクス様が提供する棚割システム「棚POWER(たなぱわー)」の新機能「自動棚割機能」の開発を進めており、本年5月、棚POWERの標準機能としてリリースを予定していることをお知らせします。

1. 取り組みの背景

小売業様において、陳列棚に多種多様な商品を、買物客の購買行動やニーズに合わせて「見やすく、選びやすく、手に取りやすい」ように、用途、機能、デザインなどで分類し、陳列位置を決める「棚割」は、店頭の有効な売場づくりを行う上で非常に重要な業務となっています。

一方で、小売業様の店舗は、立地や店舗サイズ、顧客層、エリア特性などが異なるため、店舗毎に品揃えや商品の配置、陳列量などの異なる条件を考慮しながら棚割を行う必要があります。このため、非常に煩雑な作業となり大きな作業負担となっています。また、メーカー様、卸売業にとっても、棚割は自社取扱い商品の売上を左右する要素となっているため、棚割提案は小売業様に対する提案活動の重要な要素となっており、小売業様と同様に重要な業務となっています。PALTACにおいても、行動分析によると棚割提案のための作業時間は全社で年間30,000時間を費やす状況となっております。

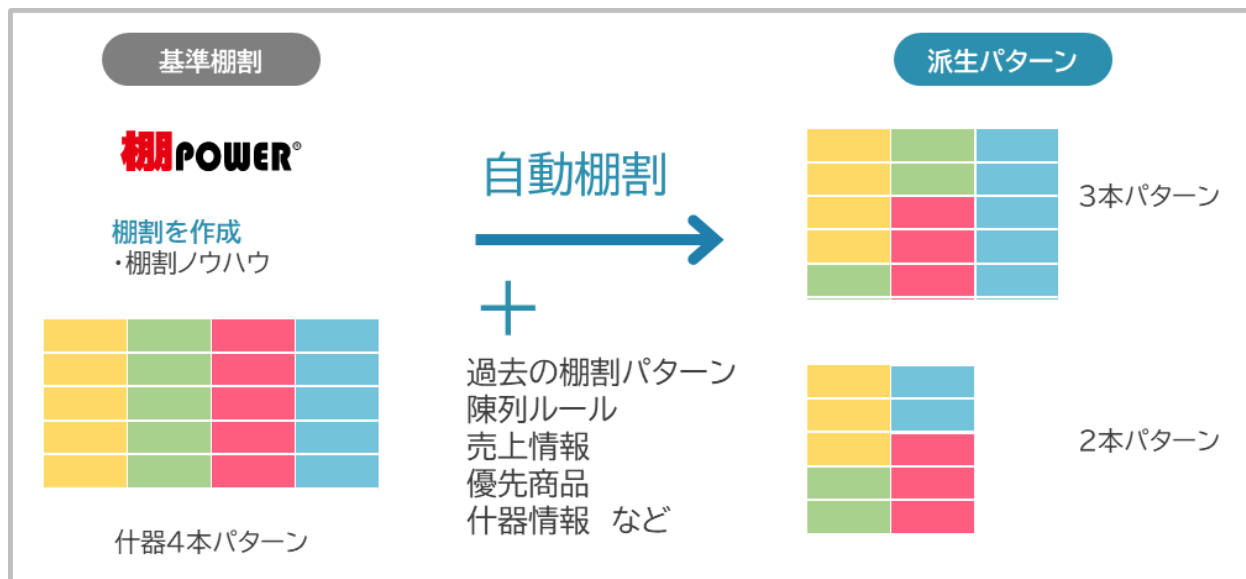
働き方改革への取り組みや、減少していく労働人口などを勘案し、有効かつ効率的な棚割提案の実現を目的に、PALTACの持つ棚割業務に携わる現場ノウハウとサイバーリンクス様の持つ棚割のシステムノウハウを融合し、同社が提供する棚割システム「棚POWER」の新機能「自動棚割機能」の実装に向け、協働を進めてまいりました。この新機能「自動棚割機能」により、作業時間ベースで約60%の削減を目指しています。

商品が、消費者に渡る店頭の棚割の効率化は、前出のとおり製・配・販全体の効率化につながる取り組みであり、PALTACの生産性向上や提案力向上だけでなく、サプライチェーン全体の発展につながる取り組みであると考えています。

2. 自動棚割機能の概要

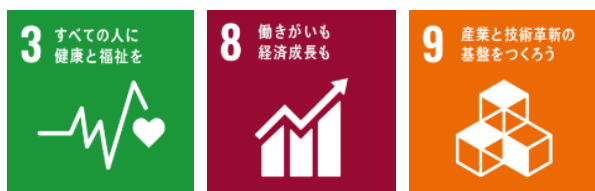
ユーザーが手動作成した基準棚割を基に、過去の棚割パターンと売上実績などを反映し、パターンに合わせた派生棚割を自動作成するものです。

【自動棚割イメージ】



【本取り組みに関連する SDGs】

本取り組みは、PALTACにとって外部企業との連携・協働による DX 推進に資する取り組みの1つであり、同時に営業に携わる PALTAC 従業員の生産性改善やワークライフバランスの向上など働き方改革につながる取り組みと考えております。



【サイバーリンクス様について】

商 号：株式会社サイバーリンクス
代 表 者：代表取締役社長 村上 恒夫
U R L： <https://www.cyber-l.co.jp>
主な事業概要：食品小売業向け基幹業務クラウドサービス
小売業向け EDI 業務支援サービス
棚割マネジメントシステム
商品画像データベース提供サービス
設 立：1964年5月
証券コード：3683(東証プライム市場)
所 在 地：和歌山県和歌山市紀三井寺 849 番地の 3

APPENDIX

「棚 POWER」概要

棚POWERは、1994年の発売以来、累計1,000社以上でご利用いただいている棚割システムです。

売上データを活用した棚割分析や、棚割提案書の作成、棚割変更時の作業指示書の作成など、棚割の検討や運営に必要な機能を幅広く搭載しています。主にメーカー様、卸売業が導入し、小売業様に対する棚割提案業務の精度向上、効率化に活用されています。

常に変化するユーザーニーズに応えるために、継続的なバージョンアップを行い様々な機能を追加搭載し続けています。契約ユーザーは、追加費用なしで棚POWERの最新機能をご利用いただくことができます。

自動棚割機能をはじめ、今後もユーザーの皆様の業務に役立つ機能を搭載してまいります。



棚POWERサービスサイト:<https://www.tanapower.com/tpower/index.htm>

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
経 営 企 画 本 部 嶋 田 (TEL 06-4793-1090)